

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】発達障害の二次障害に対する理解と支援(新課題)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講することができません。

クラスCD	ハ-101	開講日・定員	6/14(日)・40名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	発達障害の二次障害に対する理解と支援	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	矢嶋 敬紘 (やじま たかひろ)	所属	全学教育機構
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	発達障害の二次障害に対する理解を深めるとともに、具体的な支援の実際について学ぶ。 特に、通常の学級に在籍する発達障害が疑われる園児・児童・生徒に対する支援について、二次障害予防に関する解説や、支援に関わる学内外組織との連携、保護者や関係者との情報共有の実際について学んでいく。		
到達目標	1) 発達障害の二次障害に対して適切に理解できる。 2) 発達障害の二次障害に対する、具体的な支援の実際についてのイメージができる。		
受講者への 事前連絡事項	講習時に適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】食教育(新課題)

クラスCD	ハ-102	開講日・定員	6/14(日)・24名
対象職種	教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	食教育	講習の形態	講義・実習
担当講師名(ふりがな)	西川 陽子 (にしかわ ようこ)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	中・高教諭(家庭)、栄養教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>以下、1)～3)の内容について講義と実験・実習により理解を深める。</p> <p>1)日本の食生活の現状と課題(子どもの食生活を中心に栄養学的視点から)</p> <p>2)和食とは何か(食文化教育が目指す到達点、食文化と環境の関係)</p> <p>3)食の外部化への対応(消費者側に求められる食生活における姿勢と知識)</p>		
到達目標	<p>・今後懸念される日本の食生活における問題(食の安全、食と環境の関係など)を理解し、それら変化に柔軟に対応できる生活者を育むための家庭科をはじめとする食教育の展開が図れるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・白衣(エプロン)、ハンドタオル、上履き(スリッパ)をご持参ください。</p> <p>・講義で使用するテキスト及び実習材料はこちらで用意します。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】学級経営の視点から見た教育問題への対応(新課題)

クラスCD	ハ-103	開講日・定員	6/14(日)・40名
対象職種	小中高教諭、養護教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	学級経営の視点から見た教育問題への対応	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	菊地 利幸(きくち としゆき)	所属	全学教職センター
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>学校現場では、児童生徒間の「いじめ」、「不登校」等の問題や「発達障害」等の教育問題が山積している。このような問題が起きたときに、教員だけではなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部の専門家等との協力体制が欠かせない。本講義では、「チームとしての学校」や「インクルーシブ教育」の観点から協力体制や学級経営の視点でどのように対応するかを学校間を超えてグループの話し合い活動行い課題を検討していく、講習には積極的に臨んでいただきたい。</p>		
到達目標	<p>「チームとしての学校」や「インクルーシブ教育」の観点をふまえ、外部の専門家等の活用の状況とそれをふまえた、「いじめ」「不登校」、普通学級における「発達障害」等に関して、従前より理解することができたか。異校種における活用の状況を知り、今後の教育活動に役立てることができるか。等を目標とする。</p>		
受講者への 事前連絡事項			
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】相手の世界に近づくフィールドワーク(新課題)

クラスCD	ハ-104	開講日・定員	6/14(日)・30名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	相手の世界に近づくフィールドワーク	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	石井 宏典 (いしい ひろのり)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	「フィールドワーク」という言葉を耳にする機会は増えてきましたが、その目的や内実について、じつはよくわからないという人も少なくないと思います。フィールドワークは、ひと言で表現するなら、自分の知らない相手の世界に近づくための作業(ワーク)といえるでしょう。学校現場等においても、児童・生徒、保護者、同僚など多様な「相手」がいると思います。この講習では、担当講師の沖縄での長期的フィールド研究の経験を活かして、教室内でのワークも取り入れながら、心理学を含む人間科学分野におけるフィールドワークという営みの核心を学びます。		
到達目標	1. 人間科学分野のフィールドワークについて、どのような実践なのかを理解する。 2. フィールドワークをおこなうさいの基本姿勢を学ぶ。 3. 日常の現場でフィールドワークの精神と姿勢を活かせるようになる。		
受講者への 事前連絡事項	受講生同士が交流し、お互いに知りあうようなワークを含みます。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】子どもの体力づくり/心身のコンディショニング(新課題)

クラスCD	ハ-105	開講日・定員	6/14(土)・40名
対象職種	教諭、養護教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	子どもの体力づくり	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	渡邊 将司 (わたなべ まさし)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	教諭、養護教諭	担当時間	3時間
講習内容	<p>現在、子どもの体力低下が問題となっている。しかし、体力が低いことはなぜいけないのかを説明できるだろうか？本講習では、子どもの体力づくりの意義を概説するとともに、体力づくりの方法について講義や意見交換する。</p> <p>子どもの体力づくりについては学校・園全体で取り組む場合が多い。そのため、体育を専門としない教員にも必要な知識を獲得できるような内容で講習を進めていく予定である。</p>		
到達目標	<p>①子どもの体力を高めることの意義を理解できる。</p> <p>②学校・園に応じた体力づくりの方法を具体的に立案することができる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>本講習(午前)では運動実技を実施しないが、午後の講習では運動実技を体育館で実施するので、室内シューズと運動に適した服装の用意をすること。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)
講習科目名	心身のコンディショニング	講習の形態	実技
担当講師名(ふりがな)	上地 勝 (うえち まさる)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	教諭、養護教諭	担当時間	3時間
講習内容	<p>心身のコンディションを整えることは、日々の安定したパフォーマンス発揮には欠かせない。本講習では心身のコンディショニングの方法を学び、日々の仕事や生活に活用できるようにすることと、児童生徒の指導に役立てられるようにすることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>コンディショニングについての基礎的理論を理解し、自分の課題に合わせて実践できること、さらに児童生徒の指導に役立てることができる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>運動ができる服装, 体育館シューズ, 飲み物を用意してください。 保健体育以外の先生方の積極的な参加をお願いします。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】小学校英語教育(新展開)

クラスCD	ニ-101	開講日・定員	6/14(日)・30名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	小学校英語教育	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	猪井 新一 (いのい しんいち)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小学校教諭	担当時間	6時間
講習内容	1)小学校外国語活動・外国語の導入経緯・目的等について説明します。 2)言語習得の観点から小学校英語教育を考えます。 3)アジア諸国の小学校英語教育の現状・課題について説明します。 4)英語のリズム、クラスルーム・イングリッシュ等を練習します。 5)英語活動(チャンツ、ゲーム、コミュニケーション活動,small talk等)を実際に体験します。 6)文字の導入や文字を扱った活動を体験します。 7)グループごとに、外国語活動・外国語の模擬授業を実践します。 8)認定試験：上記1)から7)の内容を確認します。		
到達目標	1)小学校外国語活動・外国語導入の経緯、目的、諸課題等を理解します。 2)実際に英語活動を体験することを通して、小学校外国語活動・外国語の意義を考え、現場で小学校英語教育に取り組もうとする意欲を培います。 3)小学校における英語コミュニケーション教育の重要性を理解します。		
受講者への 事前連絡事項	可能でしたら『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語活動・外国語編』(文部科学省)をご持参ください。適宜、プリント教材等を配布いたします。グループごとに模擬授業を実施しますが、その際に必要と思われる絵カードなどの教材をできる範囲でご準備下さい。文房具、カラー用紙はある程度はこちらで準備いたします。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】幼児教育の現状と課題(新展開)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講することができません。

クラスCD	ニ-102	開講日・定員	6/14(日)・60名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	幼児教育の現状と課題	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	神永 直美 (かみなが なおみ)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>・新幼稚園教育要領の基本的な方向性について、社会情勢の変化(幼児教育の無償化、子ども・子育て支援制度施行、幼児教育の重要性への認識の高まり、保護者支援の重要性、保幼小連携の必要性、茨城県の取組み)を踏まえ概説する。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭も含めたそれぞれの立場から総合的に理解し、これからの教育を考える視点とする。</p>		
到達目標	<p>(1) 幼児教育をめぐる社会情勢の変化を理解する。</p> <p>(2) 今後の幼児教育の方向性について理解する。</p>		
受講者への 事前連絡事項	幼稚園教育要領を持参してください(インターネットでダウンロードもできます)。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)